

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公表番号】特表2003-506150(P2003-506150A)

【公表日】平成15年2月18日(2003.2.18)

【出願番号】特願2001-514898(P2001-514898)

【国際特許分類】

A 6 1 F	13/15	(2006.01)
A 6 1 F	13/494	(2006.01)
A 6 1 F	5/44	(2006.01)
A 6 1 F	13/49	(2006.01)
A 6 1 F	13/58	(2006.01)
A 6 1 F	13/511	(2006.01)
A 6 1 F	13/539	(2006.01)
A 6 1 F	13/53	(2006.01)
A 6 1 F	13/56	(2006.01)

【F I】

A 4 1 B	13/02	K
A 6 1 F	5/44	H
A 4 1 B	13/02	G
A 4 1 B	13/02	J
A 6 1 F	13/18	3 1 0 Z
A 6 1 F	13/18	3 3 3
A 6 1 F	13/18	3 0 7 B
A 6 1 F	13/18	3 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 縦及び横の軸線と、対向する縦方向の端縁と、該端縁の間を延びる対向する縦方向の側縁と、を有する吸収性パッドであって、

裏面シート層と、

前記裏面シート層の上に重ねられた流体透過性上面シート層と、

前記裏面シート層と前記上面シート層との間に挟まれた吸収性コアと、

吸収性組立体の横方向外側に配置され、各々が、前記吸収性組立体がほぼ平坦な状態では、少なくとも部分的に吸収性コアの平面の外側にある弾性部材を含む複数のサイドラップと、

を備え、

少なくとも約30ミリメートルの有効弾性値(Effecitive Elastic Value)、

約18未満の隆起係数(Gibbosity Factor)、

約800ミリグラム以上のガーレー剛性、

のうち少なくとも1つの特性を前記吸収性パッドが有するものであることを特徴とする縦及び横の軸線を有する吸収性パッド。

【請求項 2】 前記吸収性コアは単一層であることを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性パッド。

【請求項 3】 前記サイドフラップが、前記吸収性パッドの各々の縦方向端縁から縦方向に間隔を置いて配置された対向する能動端を有する弾性部材を備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性パッド。

【請求項 4】 前記サイドフラップが、前記吸収性パッドの各々の縦方向端縁から縦方向に間隔を置いて配置された対向する能動端を有する弾性部材を備えていることを特徴とする請求項 2 に記載の吸収性パッド。

【請求項 5】 前記吸収性組立体から隔たった前記裏面シート層の上に配置され、前記弾性部材の前記能動端の縦方向外側に配置された衣類取り付け手段を備えていることを特徴とする請求項 3 に記載の吸収性パッド。

【請求項 6】 前記吸収性組立体から隔たった前記裏面シート層の上に配置され、前記弾性部材の前記能動端の縦方向外側に配置された衣類取り付け手段を備えていることを特徴とする請求項 4 に記載の吸収性パッド。

【請求項 7】 前記サイドフラップは、近位縁と、遠位縁と、使用時において着用者の身体と接触するか、またはガスケット状の接触関係となる身体側の面とからなる吸収性コアの横方向外側に配置されており、少なくとも 1 つの前記弾性部材が、前記吸収性パッドの各々の縦方向端縁から縦方向に間隔を置いて配置された対向する能動端を有するようになっており、前記近位縁が前記吸収性パッドの縦方向の側縁に取り付けられ、前記遠位縁が前記吸収性パッドの前記縦方向の側縁に取り付けられていない状態であることを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性パッド。

【請求項 8】 前記吸収性パッドから離れて、前記バックシート層に配置された衣類取り付け手段を備え、該取り付け手段は、前記弾性部材の能動端の縦方向外側に配置されていることを特徴とする請求項 5 に記載の吸収性パッド。

【請求項 9】 各サイドフラップは、使用時において着用者の身体とガスケット状態での接触を維持するものであることを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性パッド。

【請求項 10】 約 2000 ミリグラム以上のガーレー剛性を有するものであることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載の吸収性物品。

【請求項 11】 前記吸収性パッドは少なくとも 40 ミリメートルの有効弾性値を有するものであることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項 12】 前記弾性部材は、前記吸収性パッドがほぼ平坦なときに前記吸収性組立体平面から完全に外側にあることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項 13】 前記弾性部材の平面外弾性体値 (Elastic Out Of The Plane Value) が、少なくとも約 5 ミリメートルであることを特徴とする請求項 12 に記載の吸収性パッド。

【請求項 14】 前記弾性部材の平面外弾性体値 (Elastic Out Of The Plane Value) が、約 10 ミリメートルから約 30 ミリメートルであることを特徴とする請求項 12 に記載の吸収性パッド。

【請求項 15】 前記吸収性コアは約 20 ミリメートル未満の厚さ寸法を有することを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項 16】 前記吸収性組立体は約 10 ミリメートル未満の厚さ寸法を有することを特徴とする請求項 15 に記載の吸収性パッド。

【請求項 17】 前記サイドフラップは、前記バックシートに結合され、前記吸収性組立体の横方向外方に延びる一対の不織サイドパネルを備え、前記弾性部材は、前記サイドパネル部材に結合して作用するものであることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項 18】 前記衣類取り付け手段は接着剤であることを特徴とする請求項 5 、 6 、または 8 のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項 19】 前記吸収性パッドは約 10 から約 40 センチメートルの長さ寸法と

約3から約12センチメートルの幅寸法を有するものであることを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項20】 前記サイドフラップは、使用中、前記吸収性パッドに1回流体が放出される前に、折畳まれていることを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項21】 前記サイドフラップは、使用中、前記吸収性パッドに少なくとも1回流体が放出された後には、少なくとも部分的に広がることを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項22】 前記サイドフラップが、使用中、前記吸収性パッドに流体が少なくとも1回放出された後には、広がることを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項23】 前記吸収性パッドは約18未満の隆起係数を有するものであることを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項24】 前記吸収性パッドは、少なくとも40ミリメートルの有効弾性値と約18未満の隆起係数を有することを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の吸収性パッド。

【請求項25】 前記吸収性パッドは、少なくとも40ミリメートルの有効弾性値と約18未満の隆起係数と、約2000ミリグラム以上のガーレー剛性を有することを特徴とする請求項1から9のいずれかに記載の吸収性パッド。